



公益社団法人 北海道社会福祉士会 子ども未来部会

子どもの未来を考える勉強会03

○開催目的

子どもの貧困、いじめや不登校、児童虐待、社会的養護、障がい児支援、親や世帯の複合課題などと制度をまたいで課題が山積するなか、本会では、未来ある子どもたちが安心して成長できる社会の構築を図ることを目的として2016年より子ども未来部会を設置しています。

本部会では、子どもの福祉に関わる様々な課題に対し、専門職である社会福祉士が出来ることを軸の一つとして、セミナーや勉強会などを開催するとともに「つながり」の創出も行なっているところです。

求められている「子どもの支援」においては、妊娠期からの切れ目のない支援体制や包括的な分野を横断した各機関の連携強化が求められていますが、必ずしも十分には機能せず、虐待により幼き命が失われるという悲しい既知の事実もあります。

第3回目となる勉強会は、函館短期大学や名寄市立大学の教授である家村昭矩氏（元北海道中央児童相談所長）をお招きし、市町村を中心とした機関連携による子育て支援のあり方について、実践や課題等も交えてご講演をいただくとともに、子どもの支援に携わっている方、また関心のある方々と意見交換も行ない、共に考え、そしてつながりができることを目的に開催いたします。

○日 時 令和2年（2020年）1月12日（日曜日） 10：30から16：00まで

○会 場 かでる2.7 8階 820研修室（札幌市中央区北2条西7丁目）

○内 容

10：00～	受 付
10：30～	開会・開催挨拶
10：35～	講 演 「市町村を中心とした機関連携による子育て支援のあり方について ～児童虐待を根絶するための切れ目のない支援体制構築のために～（仮）」 講 師：家村 昭矩 氏
12：15～	休 憩
13：15～	・事例検討 寸 劇「清野家の場合 ～3年間のかかわりと終結に向けて～」 演 者：子ども未来部会委員 ・がやがやタイム（グループワーク） 切れ目のない支援のために私たちができること ～ソーシャルワークの視点で～
16：00	終 了

○講師紹介

家村 昭矩 氏

函館短期大学 保育学科教授 名寄市立大学 保健福祉学部 特任教授
社会福祉法人北海道家庭学校 理事長 元北海道中央児童相談所長

○参加対象 本会会員、子ども家庭福祉や各機関との連携に関心がある方

○定員 60名（定員になり次第、締め切ります）

○参加費 会員：2,000円（入会申込中も含む）、非会員：3,000円、学生：無料

○申込締め切り 令和元年（2019年）12月27日（金曜日）

○申込方法

（1）所定の「参加申込書」（3頁記載）に必要事項をご記入の上、「郵便振替払込受領証」の写しを添付しFAXまたは郵送にてお申込み下さい。

（2）参加費を所定の口座（2頁記載）へお振込みください。

- ・参加費は原則、前払いとなります。
- ・一度振り込まれた参加費は原則、返金いたしません。
- ・振込用紙は、郵便局に備え付けの「青色払込取扱票」をご使用ください。
- ・振込手数料は、各自ご負担ください。
- ・通信欄に「子どもの未来を考える勉強会03」と忘れず明記してください。

< 振込先 >

*郵便口座番号 02720-3-64711

名 義 公益社団法人 北海道社会福祉士会

※他金融機関からの振込用口座番号

ゆうちょ銀行 二七九店（279） 当座0064711

名 義 公益社団法人 北海道社会福祉士会

< 参加申込先・問い合わせ先 >

公益社団法人 北海道社会福祉士会 事務局（平日 9:30~16:30）

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2.7 4階

電話 011-213-1313 FAX 011-213-1314 メール info@hokkaido-csw.or.jp



北海道社会福祉士会ではLINE@を活用して情報を配信しております。
ぜひご登録ください！
登録は左のQRコードからどうぞ。

北海道社会福祉士会 事務局 行
《FAX 011-213-1314》

「子どもの未来を考える勉強会03」 参加申込書

(ふりがな)			
氏名			
所属			
連絡先	(電話番号)		
申込内容	該当する口の欄にチェックを入れてください		
	区 分	チェック	参加費
	社会福祉士会 会員 (会員No.)		2,000円
	入会申込手続中		2,000円
	非会員		3,000円
学 生		無 料	
郵便振替払込受領証 (写) 添付欄		北海道社会福祉士会 記入欄	
		受付番号	
		入金確認	
		入力確認	

申込締め切り 令和元年(2019年)12月27日(金曜日)

※ご記入いただいた個人情報については、当該セミナーの運営および統計資料、参加者名簿の作成に使用いたします。これらの目的以外でご本人の了承なく個人情報を第三者に開示することはありません。